

令和7年度 久留米高校 LIFE — 卒業生に学ぶ —

久留米高校では毎年、生徒たちが、自分たちの将来の生活、社会的・職業的自立、社会に貢献すること等について考えるために「卒業生に学ぶ」という学習会を実施しています。令和7年度は、12月16日(火)に、1, 2年生を対象として、パネルディスカッション形式で行われました。卒業生と在校生の感想を紹介します。



高木 剛同 さん

【2002年3月久留米高校普通科卒業、純真学園大学 保健医療学部放射線技師科 講師】

仕事のやりがいや進路選択の経験に加え、皆さんが社会に出る頃には、現在とは異なる前提条件の中で働くことになる点についてお話ししました。その中で、ロジカルに考える力や現状(As Is)と目指す姿(To Be)を整理して捉える考え方を紹介し、変化の大きい時代だからこそ、目の前のことにも全力で取り組む姿勢が将来につながることを伝えました。生徒の皆さん一人ひとりが将来を主体的に考えるきっかけとなれば幸いです。

山下 晃 さん

【2006年3月久留米高校普通科卒業、株式会社赤JTB 福岡支店 教育事業センター総括リーダー】

生徒の皆さんが真剣な眼差しで聞いていたのが印象的で、単なる受け身ではなく主体的に何かを掴み取ろうとする姿勢が頗もしく感じました。社会に出て高校時代には気づけなかった“母校の繋がり”に助けられたことが多々ありました。私も先輩方に助けて頂いた分、微力ながら後輩の皆さんのお役に立てたらと思います。

長野 莉菜 さん

【2020年3月久留米高校英語科卒業、株式会社赤ちゃん本舗 ららぽーとEXPOCITY店 雑貨食品ストアリーダー】

真剣にメモをとったり頷いたりしながら話を聞いていただき、ありがとうございました。今回のパネルディスカッションにあたり、改めて高校生活で培ったものが現在の社会生活の基盤となっていることは間違いないなと思いました。私達の体験談や想いが少しでも皆さんの気づきやモチベーションに繋がっていれば幸いです。久高生の皆さんが高校生活を一杯充実させ、自分らしく夢や目標を体現できることを期待し、応援しています。

今、目の前のことにも全力で取り組む姿勢が大切だと思いました。高校生活に無駄なことはなく、与えられた環境で最大限に成長すること、失敗を恐れず挑戦することが鍵であると思いました。後悔しないために苦手科目の克服や自分を知るために情報を集め、目標を明確にしていくことを行いたいです。【2年 村上 乃彩(良山中学校出身)】

今回のお話を聞いて、一つひとつのことに本気で取り組み、色々な事にチャレンジすることが大切だと感じました。社会の事や周りの事を自分事として考え、行動できるエンジニアになりたいと思いました。何事も本気で取り組み、自分について知り、本当にしたい仕事がしたいと思いました。【2年 野口 絵梨菜(小郡中学校出身)】

先輩方の仕事へのやりがいや職業との出会いは様々だなあと感じました。少子高齢化等と直面する社会で職業人として生きていくためには、高校時代に多くの経験を積んでおくべきだと感じました。何にでもチャレンジし、先生の話をよく聞き、誰かに頼る、この3点は大切なポイントだと思いました。【1年 中堀 愛子(城南中学校出身)】

卒業生の方は、失敗や遠回りを重ねながらも自分で選んだ道が大切であると語られていました。結果だけでなく、過程を大切にし、周囲と比較するのではなく、目の前の課題に向き合うことが成長への近道であると感じました。自分で決めたことに、あきらめず努力を続けていきたいと思いました。【1年 松本 逸来(諫訪中学校出身)】

生徒達は先輩方からこれから的人生について多くを学ぶことができました。卒業生の皆様、ありがとうございました。

卒業生の方で、生徒に進路学習等において御講話いただける方がいらっしゃいましたら、学校まで御連絡ください。(久留米高等学校 TEL:0942-33-1288)